

Microsoft System Center
Operations Manager 2007
R2/SP1 および System Center
Essentials 2007 SP1/2010 用
Dell PowerVault MD Storage
Arrays Management Pack
Suite バージョン 4.1
インストールガイド



メモ



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、OpenManage、PowerVault は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。外部のウェブサイトやそのコンテンツについては一切責任を負いません。

2011 年 09 月

目次

1	はじめに	5
	前提条件	5
	Management Pack Suite へのアクセス	6
	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite v4.1 のインストール	8
	インポート前の手順	8
	管理パックのインポート	9
	SCOM のパフォーマンスと拡張性に関するガイドライン	9
	以前の管理パックからのアップグレード	10
	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.0 からのアップグレード	10
	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 3.x からのアップグレード	11
	管理パックの削除	11
	セキュリティに関する注意事項	11
	Dell 検出ユーティリティのセキュリティに関する注意事項	12

はじめに

本ガイドでは、Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) 2007 R2/SP1 および System Center Essentials (SCE) 2007 SP1/2010 用 Dell PowerVault MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 のインストール方法を説明します。



メモ: 本書中の SCOM に関する説明は、製品やバージョン情報が特に明記されていない限り、SCE にも該当します。

前提条件

次の表に、Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 のインストールに必要な管理ステーション要件を示します。

表 1-1. 管理ステーションの要件

要件	目的
Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2 または Microsoft System Center Essentials (SCE) 2007 SP1/2010	Dell MD Storage Arrays Management Pack のサポート
システムへの管理者アクセス	<ul style="list-style-type: none">• Dell 検出ユーティリティの実行• IP 設定ファイルの確認と変更 Dell 検出ユーティリティの詳細については、このユーティリティのオンラインヘルプを参照してください。
5 GB の最小ディスクスペース	SCOM での Dell Array Bridge Broker.exe ファイルの実行
(オプション) Modular Disk Storage Manager (MDSM)	回復の失敗アラートの診断および解決

表 1-2 に、管理下システムの要件をリストします。

表 1-2. 管理下システムの要件

要件	目的
PowerVault ストレージ レイをホストする、システ ム上の MDSM クライアン ト	帯域内からの、テルストレージデバイスの検出 support.us.dell.com からの最新の『Resource CD』のダウンロード

Management Pack Suite へのアクセス

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 は、自己解凍式実行ファイルです。

Dell_MD_StorageArray_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe ファイルは、次の内容で構成されています。

- Dell.Connections.HardwareLibrary.mp (ベースフォルダユーティリティ 4.0)
- Dell.Storage.MDStorageArray.mp (MD Storage Array 4.1)
- Dell.Storage.MDStorageArray.DetailedMonitoringOn.mp (オーバーライド詳細監視)
- Dell_MDStorageArray_ABB.exe
- DellMPv41_MDStorageArray_IG.pdf
- DellMPv41_MDStorageArrayMP_Readme.txt

もう一方の自己解凍式実行ファイル、**Dell_MDStorageArray_ABB.exe** は、次の内容で構成されています。

- Dell_MDStorageArray_ABBConfig.cfg
- Dell_MDStorageArray_ip_sample.cfg
- DellABB.exe
- DellDiscoveryUtility.chm
- DellDiscoveryUtility.exe
- DellDiscoveryUtility.exe.config
- MDAutoDiscovery.dll
- DellMPv41_DellDiscoveryUtility_Readme.txt

Dell_MD_StorageArray_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe は、**support.dell.com** でもご利用いただけます。

次の表 1-3 で、管理パックとユーティリティ、およびそれらの相互依存性について説明します。

表 1-3. 管理パックの機能と依存性

管理パック / ユーティリティ	説明	依存関係
Dell Connections Hardware Library MP	Operations Console の監視 ペインでデルのハードウェアグループとデルのフォルダを定義するためのユーティリティです。	なし
MD Storage Arrays MP	サポートされている Dell PowerVault MD ストレージアレイをインストール化するための管理パックです。ベースの MD ストレージアレイコンポーネントを監視し、MD アレイのすべてのコンポーネントでインベントリを実行します。この MP では、コンポーネントの正常性の監視は無効になっています。	Dell Connections Hardware Library MP 4.0
MD Storage Arrays Detailed Monitoring Overrides	MD Storage Arrays MP で定義されたすべてのコンポーネントの監視を有効にすることによる、正常性の詳細監視のための管理パックです。	<ul style="list-style-type: none"> • Dell Connections Hardware Library MP 4.0 • MD ストレージアレイ 4.1

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite v4.1 のインストール

管理パックをインストールする前に、依存する管理パックを先にインポートしてください。依存性については、表 1-3 を参照してください。

インポート前の手順

MD ストレージアレイ管理パックを SCOM にインポートする前に、次の手順を行います。

- 1 **support.dell.com** から、管理パックをローカルシステムのダウンロード先ディレクトリにダウンロードします。
- 2 管理ステーション上の場所を選択して、管理パックを解凍します。
デフォルトの場所は、**C:\¥Dell Management Packs¥MD Storage Array Mgmt Suite¥4.1** です。
- 3 自己解凍式実行ファイル **Dell_MDStorageArray_ABB.exe** をデフォルト場所 **C:\¥Dell_MDStorageArray_ABB¥** に解凍します。



メモ：ABB ファイルを C:\¥Dell_MDStorageArray_ABB に置かなければ、Dell MD Storage Arrays MP は動作しません。これにより、「DELL MD アレイ - 指定場所にファイルが見つかりませんでした」というメッセージの重大アラートが生成されます。



メモ：ABB ファイルを、Dell MD ストレージアレイのデバイスを監視している管理グループ内の全管理サーバーに設置します。

- 4 PowerVault MD ストレージアレイのデバイスを管理する管理サーバーで、次の操作のうちいずれか 1 つ を実行します。
 - 管理コンソールから、Dell 検出ユーティリティ (**DellDiscoveryUtility.exe**) を起動して、ネットワーク内の PowerVault MD ストレージアレイを検出し、ストレージアレイの IP アドレスで IP リストファイル (**Dell_MDStorageArray_ip.cfg**) をアップデートする。ウィザードに表示される入力手順に従って検出手順を完了し、IP リストファイルを生成してください。
 - ネットワーク内のストレージアレイの IP アドレスで **Dell_MDStorageArray_ip.cfg** ファイルを手動で更新する。一行のセミコロン区切り形式で IP アドレスをアップデート (IPv4 形式または IPv6 形式) するようにしてください。例えば、
10.94.1.1;10.94.1.2;10.94.1.3;10.94.1.4;10.94.1.5
または
2001:db8:85a3::8a2e:370:7334;2001:db8:85a3::8a2e:370:7335
のようにします。
- 5 管理パックのインポート 詳細については、[管理パックのインポート](#)を参照してください。

管理パックのインポート

MD ストレージレイ管理パックをインポートするには、**SCOM インポート管理パック** ウィザードを使用します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **System Center Operations Manager 2007** の順にクリックし、**Operations Console** を選択します。
- 2 **Operations Console** のナビゲーションペインで **管理** をクリックします。
- 3 **管理** ツリーを展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
- 4 **追加** をクリックします。**ディスクから追加** を選択します。
- 5 管理パックの場所を入力するか、その場所を参照します。インポートする管理パックを選択し、**開く** をクリックします。
管理パックのインポート 画面が開いて、選択した管理パックが **インポートリスト** に表示されます。
- 6 タスクを完了するには、**インストール** をクリックします。



メモ : MD Storage Arrays MP と MD Storage Arrays Detailed Monitoring Overrides MP を同じセッションで一緒にインポートすると、MD ストレージレイデバイスの個々のコンポーネントに関する正常性監視ステータスが表示されます。MD Storage Arrays MP のみをインポートすると、個々のコンポーネントレベルの監視は無効になり、監視されていないとして表示されます。



メモ : SCE 2007 SP1、SCE 2010、SCOM 2007 SP1 では、手順が多少異なる場合があります。

SCOM のパフォーマンスと拡張性に関するガイドライン

最適なパフォーマンスを得るためには、Dell MD Storage Array Management Pack Suite バージョン 4.1 を専用管理ステーションにインストールしてください。



メモ : MD Storage Arrays MP は、監視スクリプトを管理サーバー上で定期的に行い、MD アレイおよびそのコンポーネントの正常性を判定します。多数の MD ストレージアレイを監視している場合、監視スクリプト数が増加し、アレイを管理する管理サーバーの CPU 使用率が上昇します。MD Storage Arrays Detailed Monitoring Overrides MP を削除すると、CPU 使用率は低下します。MD ストレージアレイをグループ内の管理サーバー間に分配しても、管理サーバーの CPU 使用率が低下します。

拡張性に関する Microsoft の推奨事項については、Microsoft のウェブサイト [http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402(en-us).aspx) を参照してください。



メモ : **Operations Manager Database** で **自動拡張** オプションが有効になっていることを確認してください。

以前の管理パックからのアップグレード

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite の以前のバージョンをインストールした場合、現在のバージョンに直接アップグレードすることができます。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.0 からのアップグレード

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite 4.0 から 4.1 にアップグレードすることができます。現在のバージョンからアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 1 **Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite v4.1** のインストールの手順に従います。
- 2 **Dell MD Storage Arrays MP** および **MD Storage Arrays Detailed Monitoring Overrides MP**、両方の管理パックを同じセッションでインポートします。

MD Storage Arrays MP のみをインポートすると、コンポーネントレベルの監視が無効になります。ABB ファイルも最新版にアップグレードするようにしてください。



メモ: バージョン 4.0 から 4.1 にアップグレードすると、アップグレード前に重要または警告状態にあったコンポーネントは、アップグレード後の初回監視サイクル時に正常状態になります。それ以降の監視サイクルでのみ、デバイスに正しい正常性ステータスが表示されます。

- 管理パックを 4.1 にアップグレードした後、ダイアグラムビューのいくつかのコンポーネントに引き続きデフォルトアイコンが表示され場合があります。新しいアイコンを表示させるには、**Operations Console** を **/clearcache** オプションで再起動させる必要があります。
- バージョン 4.0 で指定した検出間隔の上書きは、4.1 によって完全には引き継がれません。4.0 と同様に機能させるには、MD アレイの検出間隔を上書きする必要があります。
- MD Storage Arrays MP のバージョン 4.0 から 4.1 にアップグレードした場合、4.0 で指定したユニット監視の上書き設定は 4.1 には引き継がれず、機能しません。
- バージョン 4.1 にアップグレードすると、MD ストレージアレイ **ダイアグラム** および、**状態** ビューに MD ストレージアレイが数分間表示されない場合があります。検出が完了すると、MD ストレージアレイダイアグラムと状態ビューに MD ストレージアレイが再度表示されます。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 3.x からのアップグレード

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite 3.x から 4.1 にアップグレードすることはできません。Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 をインポートする前に Dell Storage Arrays Management Pack 3.x (**Dell.Connections.StorageArray.mp**) を削除するようにしてください。

管理パックの削除

管理パックの削除は、次の順序で行います。

- 1 MD Storage Arrays Detailed Monitoring Overrides MP (ある場合)
- 2 MD Storage Arrays MP
- 3 Dell Connections Hardware MP

管理パックを削除するには、次の手順を実行します。

- 1 SCOM Operations Console で、**管理** → **管理パック** と選択します。
- 2 **管理パック** ペインで MD ストレージレイ管理パックを選択します。
- 3 選択した管理パックを右クリックして、**削除** をクリックします。

管理パックを削除した後、SCOM コンソールを再起動することをお勧めします。



メモ: 管理パックを削除すると、一部のユーザー役割の範囲に影響する可能性があります。

セキュリティに関する注意事項

Operations Console へのアクセス権は、SCOM で内部処理されます。これは、SCOM Console の **管理** → **セキュリティ** 機能の **ユーザー役割** オプションで設定できます。割り当てられた役割のプロファイルによって、実行できるアクションが決まります。セキュリティに関する注意事項の詳細については、『Microsoft Operations Manager 2007 SP1』、『Microsoft Operations Manager 2007 R2』、または『Microsoft Systems Centre Essentials SP1/2010』のオンラインヘルプを参照してください。

Dell 検出ユーティリティのセキュリティに関する注意事項

どのシステムでも、MD ストレージアレイを検出するために初めて Dell 検出ユーティリティを実行するとき、システムがインターネットにアクセスできない場合は 40 ~ 45 秒の遅延が発生することがあります。

この問題は、Authenticode 署名を持つ .NET Framework 2.0 マネージャセンブリの読み込みに通常より長い時間を要するために発生します。Authenticode 署名を持つ .NET Framework 2.0 マネージャセンブリが読み込まれる際には、常に署名が検証されます。

インターネットアクセスを持たないシステム上での起動の遅延を避けるには、以下のいずれかを行います。

- 1 **Dell_MDStorageArray_ABB.exe** を解凍した場所から **DellDiscoveryUtility.exe.config** ファイルを開く。
- 2 `<generatePublisherEvidence enabled="True"/>` を "False" に設定する。